

姉妹都市ヒルズボロ市を訪問

7月3日～9日、姉妹都市提携20周年を記念して、市民訪問団40人がアメリカオレゴン州ヒルズボロ市を訪問し、市民との交流などを通して親善を深めてきました。

現地で行われた歓迎パーティーで



左から原田袋井市長、トム・ヒューズヒルズボロ市長、シャーリー・ホフマン元ヒルズボロ市長

は、訪問団を代表してオカリナ合奏団の皆さんが、美しい音色を披露し、日本の文化を紹介しました。また、現地のビジネスリーダーと懇談したり、主要施設や企業の見学をしたりして国際視野を広めてきました。



幻想的な明かりに包まれて

7月9日・10日、法多山で万灯祭が行われました。

本堂周辺や石段に設置された、たくさんの灯ろうに明かりが灯されると、夕闇に幻想的な光景が出現。御利益を求める多くの参拝客は、幻想的に揺れる

る光にすっかり魅了され、いつまでも眺めていました。

また、本堂前では「厄よけほおずき市」も開かれ、浴衣姿の方や家族連れなど訪れた皆さんは風情ある夏の風物詩を楽しんでいました。



訓練で磨かれた技術 全国で競う

袋井消防本部特別救助隊の浅山晃一さんが、県消防救助技術大会のロープブリッジ渡過競技（20メートルのロープを往復する競技）で1位となり、8月29日（金）に開催される全国消防救助大会へ出場します。



袋井消防本部から初の全国大会出場者となる浅山さんは、「17秒前半の記録を出して、優秀な成績が認められるように頑張りたいです」と話してくれました。

正しいラジオ体操学んだよ

7月12日、浅羽体育センターで小学5・6年生や保護者約90人が参加して、ラジオ体操講習会が行われました。

夏休みに、正しいラジオ体操を行ってもらおうと毎年行っているもので、



子どもたちは、講師の指導に真剣に耳を傾け、曲に合わせながらきびきびと体を動かしました。講習の後には、一人ひとりに修了証が渡され、とても満足そうでした。

みんなの海岸を大掃除

7月6日、浅羽海岸で浅羽海岸クリーン作戦が行われ、約1,200人の皆さんが参加しました。

浅羽南地区の自治会やボランティア、サーフア1、浅羽中学校の生徒たちが、東西約5キロの海岸を歩きながら、波打ち際に落ちていたごみを拾い集めました。

空き缶やペットボトル、プラスチック製品など約10トンのごみが集められ、参加した皆さんは、海岸美化の大切さを改めて感じていました。

